

2025 年 6 月 13 日

各位

会 社 名 アライドアーキテツ株式会社
代表者名 代表取締役会長 田中 裕志
(コード番号：6081 東証グロース市場)
問 合 せ 先 執行役員コーポレート本部長 水野 智博
(TEL 03-6408-2791)

通期連結業績予想と実績値との差異及び特別損益の計上に関するお知らせ

当社は、昨年11月14日の2024年12月期第3四半期決算発表時に開示した2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、特別損益の計上を行うことといたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 2024 年 12 月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日)

	連 結 売 上 高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,400	百万円 △430	百万円 △470	百万円 非開示	円 銭 非開示
実 績 値 （ B ）	3,463	△459	△386	△516	△36.33
増 減 額（B－A）	63	△29	84	—	—
増 減 率（％）	1.9	—	—	—	—
（参考）前期連結実績 （2023 年 12 月期）	4,058	146	207	△248	△17.53

2. 差異の理由

連結売上高は、第4四半期において想定を上回る売上が計上されたことにより、実績値が予想を63百万円上回りました（増減率1.9%）。

連結営業利益につきましては、売上高の増加があったものの、海外事業（SuperFaction Pte. Ltd.）の業績が想定より下振れしたことにより、実績値が予想を 29 百万円下回る結果となりました。SuperFaction Pte. Ltd. は 10 月 31 日付「連結特定子会社 2 社及び非連結子会社 1 社の解散及び清算に関するお知らせ」のとおり、解散を決定し事業活動を停止いたしました。清算に至る過程で人員整理等の費用が予算を上回りました。

連結経常利益につきましては、営業損失は拡大したものの、想定より円安が進んだこと（期初想定レート140円に対し実際の平均レートがより円安水準で推移）により、為替差益103百万円を営業外収益に計上したこと等により、実績値が予想を84百万円上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想では非開示としておりましたが、実績値は516百万円の損失となりました。これは、経常損失386百万円に加え、後記「3. 特別損益の計上」に記載の特別損失が特別利益を41百万円上回ったこと、法人税等68百万円（法人税等30百万円、法人税等調整額35百万円）の計上等が加わった結果、損失が拡大しました。

3. 特別損益の計上

2024年12月期において、特別利益として投資有価証券売却益他33百万円を計上いたします。

一方、特別損失として74百万円を計上いたします。内訳は、当社子会社の投資先の財政状態が著しく悪化したことによる投資有価証券評価損32百万円、調査委員会において2024年12月末までに発生した特別調査費用31百万円、およびSuperFaction Pte. Ltd. の各拠点のクローズに伴って発生した関係会社清算損失10百万円となっております。

以上の特別損益の計上により、特別損失が特別利益を41百万円上回ったことが、親会社株主に帰属する当期純損失に影響を与えております。

以 上